

環境配慮措置	カテゴリー	05：自然環境保全	
	項目	b. 敷地内植栽の管理の適正化	
	概要	●敷地内の植栽については、主に藻岩山の自生種を植栽し、維持管理していく。樹木（枝等）が運営上支障となる場合などには、有識者等の意見を参考に適正に対応していく。	
環境配慮の目的・方針	【自然環境】	重要種の生息及び生育域、森林環境の改変の回避	
	【自然環境】	事業実施区域に隣接する森林環境の保全	
	【 】		
	【 】		
	【 】		
該当箇所・チェック対象	チェック状況・写真	評価	
		実施状況・コメント	評価
樹木等の選定内容		竣工後の植樹は山麓の4本であり、エゾヤマザクラ3本、オオバボダイジュ1本とすべて藻岩山の自生種を選定している。	◎ 効果あり
支障となる樹木の有無と有識者意見の抽出		支障木は新たに出てきていない。 12/10/11に斎藤先生による現地確認を実施。一部補植等の必要性が指摘されたが、おおむね良好である。今後の運用次第である。 自然学習歩道に生えてきているササについては、安全性や植栽保全のため管理方法を検討中である。	◎ 効果あり